

ヒトとイヌの認知的インタラクションの行動遺伝学的 解明と、インタラクションがもたらす共生QOLの評価

私たちが取り組んでいます！

【研究チーム】

代表者：菊水 健史（獣医学部 動物応用学科 伴侶動物学研究室 教授）

メンバー：茂木 一考（獣医学部 動物応用学科 伴侶動物学研究室 准教授）

永澤 美保（獣医学部 動物応用学科 介在動物学研究室 講師）

藤井 洋子（獣医学部 獣医学科 外科学第一研究室 教授）

齋藤 弥代子（獣医学部 獣医学科 外科学第二研究室 講師）

青木 卓摩（獣医学部 獣医学科 外科学第一研究室 講師）

戸張 靖子（獣医学部 動物応用学科 動物資源育種学研究室 講師）



菊水 健史（代表者） 藤井 洋子 齋藤 弥代子 戸張 靖子 ほか3名

めざすこと（研究目的）

ヒトとイヌのかかわり方と相互作用のメカニズム
を明らかにし、ヒトの健康を支援する

やること（研究方法）

動きのセンシング

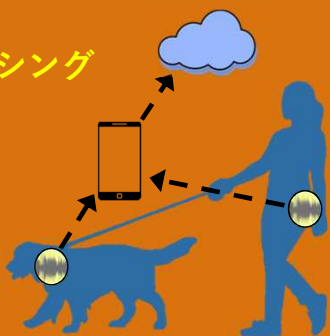
視線モニタ

イヌの健康

ヒトの健康

共進化

遺伝基盤



ヒトとイヌの動きを長期的にセンシング
獣医医療によるヒト健康のセンシング
つながりを支える遺伝基盤を解明



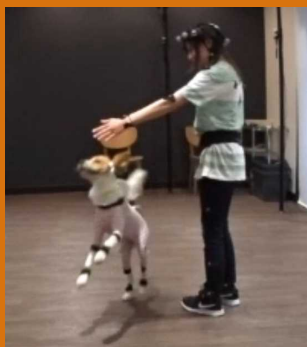
わかること・できること（成果）

なぜヒトとイヌが共生できるのかが明らかに
獣医診療による、イヌの健康を介したヒトの
健康のつながり
それを支える遺伝子の解明

I am happy
because you
are happy!



こんなふうに研究しています！



説明：モーションキャプチャー中のイヌと学生

キーワード解説

獣医診療とヒト健康：イヌの疾患を治療することで、
ヒトイヌという集合体の健康を支えます

ヒトとイヌの共生遺伝子：イヌは進化の過程で、ある
遺伝子により、ヒトと共生できることを明らかにしました